

研究課題名：	DPC・JANIS データを用いた抗菌薬使用状況と耐性菌発現状況の関連性評価
所属(診療科等)：	公立昭和病院 感染管理部・薬剤部
研究責任者(職名)：	一ノ瀬 直樹 (担当係長)
研究期間：	2018年1月15日～2022年3月31日
研究目的と意義：	<p>抗生物質メチシリンに対する薬剤耐性を獲得した黄色ブドウ球菌 (MRSA) への感染は100人中0.36 人に発生すると報告されており, 病院感染は患者さんにとって大きな脅威となっています。</p> <p>これら耐性菌感染の発生率は入院する病院によって大きく異なっていることも明らかになっています。このバラツキは患者さんの重症度の違い, 病院環境の違い, 診療内容の違いなど様々な要因によって引き起こされていると考えられています。もし仮に各病院の患者さんの重症度が同程度であるにもかかわらず, 感染率が病院間で大きく異なっていることが明らかになったならば, 感染率の高い病院には改善の余地が大きくあることが示唆されます。その結果, 感染対策の強化という対応策をとることができます。</p> <p>九州大学において, 当院において実施された治療内容を, 病院に存在する電子情報から正確に調べられ, 抗菌薬をどのように使用することで, 耐性菌感染を防止することができるのかを統計学的に解析されます。当院では, 九州大学からフィードバックされる解析結果をもとに, より良い感染対策について探ります。</p>
研究内容：	<p>●対象となる患者さん 全ての入院患者</p> <p>●利用するカルテ情報 【DPC データ】 性別, 年齢, 入院年月日, 退院年月日, 退院時転帰, 傷病名, 入院時併存症, 入院後発症疾患, 手術名, 手術日, 身長, 体重, 喫煙指数, 使用薬剤, 薬剤使用量, 薬剤使用日, 使用材料, 材料使用回数, 材料使用日, 診療点数, 入院日数 【JANIS データ】 主要菌種・主要薬剤耐性菌別の分離状況, 検体提出日</p> <p>●研究方法 医療機関別 DPC データ及び JANIS データを収集し, 医療機関単位で突合せたデータベースを構築する。DPC データからは抗菌薬の使用状況を, JANIS データからは耐性菌発現状況を測定し, 両者の経時的なトレンドを後ろ向きに検討する。</p> <p>●利用する研究機関の範囲 公立昭和病院</p>
問い合わせ先：	<p>【研究担当者】 氏名：一ノ瀬 直樹 (感染管理部・薬剤部) 住所：小平市花小金井 8 丁目 1 番 1 号 電話：042 (461) 0052 (代表) FAX：042 (464) 7912 【ご意見・相談窓口】(臨床研究・診療内容に関するものは除く) 総務課 042 (461) 0052 内線 2247 受付時間：月～金 9:00～17:00 (祝・祭日を除く)</p>